

2023年6月13日

第70回通常総会 大阪電業協会会長挨拶

第70回通常総会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆さまにおかれましては、お忙しい中、本総会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

日頃は、本会の活動に多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、コロナ禍にウクライナ危機が重なり引き起こされた物価高騰や円安の進行など、社会経済活動に今までにない不安定さを感じた1年でした。

建設業界では、建設投資は堅調に推移し、コロナ禍の影響による落ち込みの回復がみられたものの、熾烈な競争、資機材の高騰や調達難といった困難な問題に直面しました。今後も予断を許さない状況が続くものと思われまます。

関西地区では、大阪・関西万博の開幕まで2年を切り、資材価格の高騰などが影を落とす中、これから準備が加速し、さらに活況を呈すると期待されています。

来年4月からは、建設業に対する罰則付き「時間外労働の上限規制」がいよいよスタートします。

日本電設工業協会では、日本空調衛生工事業協会と共同で、建築工事の工程遅延による電気設備工事へのしわ寄せに関し、前工程の遅延防止と必要な工程の確保への理解と協力を求め、建設業界団体などに申し入れをしています。

会員の皆さまにおかれましても、自助努力として、労働環境の改善に向けて強い意識を持ち、働き方改革を各現場一つひとつから着実に進めてまいりましょう。

昨年度は、技能競技大会が第50回の節目を迎え、青年部会も設立50周年を迎えた特別な年でした。

今年度は、本会主催行事もコロナ禍前に戻した形で開催したいと考えております。特に、現場を支える担い手の確保が、会員共通の喫緊の課題ですので、入職促進事業には引き続き、注力してまいります。

本会は、今後も関係団体との連携を強化し、会員の皆さまとともに知恵を絞り、協力して、業界の健全な発展に寄与できるよう、事業を推進してまいります。引き続き、

ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

そして、いよいよ近づいてまいりました。4カ月後の10月には、関西支部が担当する日本電設工業協会会員大会が、ここ大阪で開催されます。関西支部、大阪電業協会が一丸となって、「和」をテーマに元気に開催したいと考えます。格別なるご支援、ご協力を重ねてお願いいたします。

最後になりますが、大阪電業協会の会員各社のご隆盛、そして本日もご出席の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、通常総会開会のご挨拶とさせていただきます。